

Honda RIDING GEAR & ORIGINAL HELMET

No.01

2012 SPRING & SUMMER
New Wear, Riding Wear, Casual Wear,
Rain Wear, Custom Order, Gloves,
Boots & Shoes, Protector, Accessory, Helmet
<http://www.honda.co.jp/bike-accessories/>

HONDA

MOTORHEADZ #02

Takumi Iwase

岩瀬 匠／「TOKYOGUNS」クリエイティブディレクター
雑誌『ストリートバイカーズ』でのバイクピナップ连载や
バンド『SHAKALABBITS』のCDジャケットなど幅広いジャンルで
活躍するTOKYOGUNSのクリエイティブディレクター岩瀬 匠さん。
ストリートカルチャーとバイクがクロスオーバーした
イラスト・グラフィックも得意とする岩瀬さんにインタビュー！



Q 岩瀬さんは、バイクをいつ頃から乗られているのですか？

A 中型（普通自動二輪）の免許を取ったのは、20歳の時です。それまでは、原付免許でHondaのモンキーをずっと乗っていました。ゴールドメッキ仕様のモデルです。高校生の時に通っていた予備校時代や大学の最初の頃は、そのモンキーで東京の福生から国分寺まで通っていました。中型の免許を取ってからは、音楽やファッションなども含めてカフェレーサースタイルに憧れましたね。それで、通学や彼女とのデートは、もっぱらバイク。彼女を後ろに乗せて、ずっと一般道で彼女の住んでいた東京の小平から千葉・鴨川まで行ったりもしましたね。朝8時に出発したのに、向こうに到着したのが夜10時……さすがに長かったです（笑）。周りの友達もバイクを乗っている奴が多くて、バイクのある毎日が当たり前でした。

Q そんな美術大学時代からTOKYOGUNSという名前でイラストレーター／デザイナーとして活動を始めるんですね？

A はい。短大の卒業後に、学内に専攻科というのがあって、そこに1年間通っていたんです。その時、

イラストレーター志望のグラフィック科の先輩がいっぱいいて、その外向きな活動や判断に惚れて手伝いをするようになります。そして、先輩たちが卒業と同時に作品制作にコンピューターを使い出すんです。僕はアニメの『AKIRA』や『攻殻機動隊』が好きだったので、コンピューターで表現することに魅せられたんです。元々は、空間演出デザインというディスプレイなどを専攻していたんですけど、途中でMacのイラストレーターというソフトを使って絵を描くようになっていました。その辺りからいろいろな交流とコネクションが広がっていき、クラブのフライヤーなどの仕事もボツリボツリ声をかけてもらったりし始め、その時代は就職氷河期でもあったし、このイラストレーターの道でいこうかなと。

Q 岩瀬さんが絵を描く時にインスピレーションが多いのですか？

A 年々変わってきていますね。若い時は、海外の雑誌だったり、自分より遠い世界や新しいものに刺激を受けることも多かったです。意外かもしれません、バイクに乗っている時はインスピレーションというよりも、よりリアルな描写を意識している部分が多いです。ハンドルを切っている時の体の動きとか形とか……。例えば、バイクを描く時にリアルさを出す意味で守る部分と強調するためデフォルメする部分、このあたりがメッセージ性を含めて絵を描く時のポイントかなと。

Q そのバイクを描くというのでは、雑誌『ストリートバイカーズ』での连载ピナップがありますね。

A 1998年からスタートした连载ですね。当時、僕はあるアパレル会社でTシャツブランドをやっていて、その中でバイクモチーフのデザインを出したんです

けど、それが『ストリートバイカーズ』編集部の目に留まつたようで……。そこから『ストリートバイカーズ』での连载が始まり、ストリートではモトード系バイクが流行り始めたシーンもあって、渋谷バブルでバイクをテーマにした個展を開催したりもしました。その個展では、フォトグラファーの内藤啓介さんと一緒にHondaのFTRやジャイロをカスタムしたりして楽しかったですね。

Q 普段、バイクの乗る時は、どんなファッションが多いですか？

A 基本は街中なので、本当に普段着、カジュアルなスタイルんですけど、自分なりのルールは絶対ありますね。カフェレーサータイプのバイクならUKスタイルの革ジャンでブーツとか、モトード系ならアメリカのオールドスクール調スニーカーでOKとか。革ジャンは特に好きですね。ただ、ライダースでバイクに乗ると寒いことが多いですし（笑）、雨には勝てないので、レインウェアではバイクのことをよく知っているメーカーは絶対ハズせないですね。

profile

1973年生まれ。筑波大学附属大学院デザイン研究会空間演出デザイン専攻卒業。在学中よりTOKYOGUNS名義で、クラブのフライヤー／デザインをキックケイド、デザイナーとして活動をスター。ポップなアメリカンスタイルと日本カルチャーの融合＆リミックス風にブラックユーモアを加えた独自のスタイルが注目されている。<http://www.tokyoguns.com/>

